

2026年度 科教協 東京支部 春の研究集会

初めての方大歓迎！ 1日かけてじっくり勉強してみませんか？

こうすればおもしろい理科の授業！

—自然科学を学ぶ楽しさを子どもたちと—

これだけは教えたい基礎的内容を学び合います すぐに使える単元プランやわかりやすい実験を紹介します
現地参加は事前申し込みはいりません どなたでも参加できます



- 会場：中央大学附属中学校・高等学校
中央線 武蔵小金井駅北口から京王バス「中大附属高校」下車
武蔵小金井駅北口から徒歩の場合 約18分
西武新宿線 小平駅南口から銀河鉄道バス「中央大学附属中学・高等学校」下車
- 日時：4月19日(日) 10:00~16:30 (受付開始9:30)
- 参加費：2,000円(学生は無料) 東京支部の会費を払った方は1,500円
- 主催：科学教育研究協議会 東京支部
- 時程

9:30	12:00	13:00	16:00
受付	全体会	休憩 支部 総会	昼食 休憩 分科会
10:00	12:20	13:30	

全体会：「次期学習指導要領についての学習会
～掲げられる理念と理科の授業づくりを考える～」

- ★支部総会は「多目的ホール(7階)」でおこないます。
- ★お弁当の販売は行いません。昼食はご準備ください。近くにコンビニはあります。



科学教育研究協議会(科教協)は1954年設立の民間教育研究団体です

科教協は「自然科学をすべての国民のものに」をスローガンに、自然科学を楽しく学べる理科授業の創造をめざす教育研究団体です。創立以来、全国の教師や研究者など、幅広い人々の手によって研究運動を発展させてきました。月刊誌『理科教室』(発行 メトロポリタンプレス)を編集しています。

都内各地にある理科サークルに参加してみませんか？

研究授業や実験のこと、理科授業について何でも、気軽に聞けます。当日受付で、都内のサークル一覧を配布します。

昨年4月におこなわれた 春の研究集会も大好評でした！！

<参加者の感想から>

★ つながりのある授業、事実をいっぱい見せる...など、これからの理科の授業の目標になるような言葉をたくさん聞かせていただけました。この春から、急に三年、四年、五年の理科を担当することになり、不安と不満で一杯でしたが、お二人の実践や参加者の意見を伺っているうちに、楽しくて実のある理科をやれば、子どもたちと楽しい時間を過ごせるんだという、前向きな気持ちになれました。

(小学校4年 分科会参加者)

★ 支部大会には10年ぶりくらいの参加でした。今年度、念願の理科専科(5,6年生)になれたのですが、6年生の理科カリキュラムに不安があってやってきました。ブタンガスの扱い方、気体検知管の使い方など、自分なりの判断で間違っていないと確信が得られたよい時間になりました。具体的な授業の進め方もノートのを提示していただき、よくつかむことができました。子どもたちの反応をよくとらえ、言葉を大事に、授業をしていきたいです。

(小学校6年 分科会参加者)



武蔵小金井駅から
本校まで
徒歩約18分

<問い合わせ>

科教協東京支部事務局長 町田智朗(都立東村山西高校 勤務)
連絡先 e-mail: machitomo@mac.com

<科教協東京支部 HP>

<https://sites.google.com/view/ase-tokyo/ホーム>
※ 右のQRコードからご覧いただけます



全体会

次期学習指導要領についての学習会

～掲げられる理念と理科の授業づくりを考える～

小中学校の次期学習指導要領は2026年度中に中央教育審議会から答申され、2030年度から順次施行されるとされています。次期指導要領では、授業内容はもちろん今までの授業を大きく変える内容が盛り込まれているようです。午前中は、学校現場で先行して行われはじめた研究授業などを報告してもらい、問題点や対応方法などについて学びたいと考えています。

- ① 「次期学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の実装および深化とは」(仮) 宮田康宏さん(公立中学校)
- ② 「課題解決学習」「自由進度学習」「授業時数の弾力化」「教科担任制」など 現場からの報告
- ③ 「どのような授業づくりをしていけばよいか」: 高橋 洋さん(元公立小学校)

分科会一覧

- ※ 小学校の分科会は、教科書をお持ちください。
- ※ レポートの順番は都合により入れ替わることがあります。

小学校 低学年 (生活科)	① 「『自然のたより』」 自然は子どもたちにとって関わりやすく、働きかけやすい教材です。自然を軸に学びを広げる姿は見ている教師もワクワクします。	大谷 真樹子さん(南多摩理科サークル)
	② 「作って遊んで工夫する～授業づくり」 この3ステップで、経験の少ない子ども、少しの見本で自信を持たせもっとやろうとやる気を引きだす簡単工作をご一緒に!	佐久間 徹さん(自然科学教育研究所)
小学校 中学年	① 「前半の単元について」 3、4年生前半の単元について簡単に説明します	高橋真由美さん 高橋洋さん(足立理科サークル)
	② 「3年『音』」 「音が出ているとき、物は震えている」ことを、紙笛、ストロー笛、輪ゴムギター、音楽室の楽器など様々なものを使って実感させる授業です。	児玉 久美子さん(理科授業研究会)
	③ 「4年「電気のはたらき」」 子どもが楽しく取り組める電気の学習を提案します。	黒澤 知子さん(理科授業研究会)
小学校 5年	① 「年間指導計画と具体的な単元計画について」 1年間の単元計画と具体的にどのように授業を進めていったらよいのかを教材や教具なども紹介しながら提案します。	宮崎 巨さん(南多摩理科サークル)
	② 「自然の見方が変わる!理科の学習計画と見通し」 5年生の理科前期では、植物の発芽や成長の条件、メダカの誕生、天気の変化を学びます。生命の連続性や自然の法則を自分たちの力で確かめる楽しさを味わいましょう。	佐々木 仁さん(足立理科サークル)
小学校 6年	① 「年間指導計画と『ヒトや動物の体』のプラン紹介」 教科書の内容にプラスすることで、教師も子どもも「自分の体がすごい!」と実感できるような授業を紹介します。令和7年度の自分の実践を見直したプランです。	長江 真也さん(足立理科サークル)
	② 「物の燃え方」は、「気体の学習」からはじめよう」 4月、年度初めのいそがしい時に、簡単な準備で6年生の理科の授業を始められる方法を提案します。	木村 匡司さん(板橋練馬理科サークル)
物 理	① 「中学校1年理科における『分子運動と圧力』の授業」 粒子概念を中心とした、仮説実験型の授業による生徒たちの圧力の概念形成について、一緒に議論して頂ければと思います。	伊藤 建さん(明星学園中学校)
	② 「慣性から始まる円運動の授業」 高校生に円運動を教えたときの実践記録を検討します。慣性の法則の理解が円運動の理解につながることを見ていただけたらと思います。	川島 健治さん(東京物理サークル)
化 学	① 「中学2年の化学分野における深い学びの実現に向けて」 単元を通して身につけた知識や技能を活用する場として、生徒が「黒い粉末の正体」を探るパフォーマンス課題の実践報告になります。	内田 かおりさん(座間市立西中学校)
	② 「酸塩基の実践報告」 基礎基本の徹底と探究活動をどう繋ぐか。酸・塩基の実践記録をもとに、効果的な課題設定や実験の工夫について提案します。	小松 寛さん(開成中学校・高等学校)
生 物	① 「哺乳類の骨の授業・『進化』の考え方の入り口として」 腕の骨は何本?足の骨は何本?という問いから始まって、他の哺乳類と比べて行きます。基本は同じだが、生活の仕方によって変化することが、哺乳類の骨格の骨のプリントも色塗りの作業学習でわかります。	岩間 滋さん(岩手科教協)
	② 「中学校・遺伝の授業」 中学校の遺伝の学習を、課題形式の授業で実践しました。ショウジョウバエの観察なども交えた授業の記録を検討して頂ければと思っています。	平山 勲さん(生物学教育研究サークル)
地 学	① 「横断的に学ぶ大気の大循環」 社会科(地理科)と連携して、生徒が苦手意識を持つ大気の大循環を横断的に学ぶ授業の工夫を提案します。	影山 侑汰さん(元都立立川国際中等教育学校)
	② 「中3天文の授業」 中学3年の天文分野を初めて担当し、実験や観測がしにくい中、試行錯誤しながら挑戦しました。	久富 悠生さん(都立三鷹中等教育学校)
障害児・者と 自然科学教育	① 「『光った!』に喜んだ電気の授業」 光る、回るテスターを使った金属調べ、ながーい回路を作って電気をつける実験の様子を紹介します。	長谷川 京香さん(江東授業づくりサークル)
	② 「話したいこと いろいろ みんなで」 子どもたちのこと、学級の様子、今までやったこと、これからやりたいこと等々、みんなで話し合い、交流したいと思っています。	参加された皆さん
	③ 「今年はこれをやってみたい!」 自然科学を通して、子どもも先生も一緒に楽しんで自分の世界を広げて欲しい。年間計画や教材紹介、ちょっとしたものづくりをします。	伊藤 廣子さん(障害児・者と自然科学教育サークル)